

(衆) 決算行政監視委員会「行政監視に基づく事業の見直しに関する決議のフォローアップ決議」(労災診療費のレセプト審査事務)への対応について

## 1 対応の必要性

衆・決算行政監視委員会による決議（平成24年9月7日）（別添参照）がなされ、労災診療費のレセプト審査事務に関する業務改善等の具体策について、「労災診療費のレセプト審査事務に関する検討会」を再開するなどして検討することを求められているもの。

※平成23年12月8日 衆議院決算行政監視委員会の決議

「労災診療費のレセプト審査事務の社会保険診療報酬支払基金への委託についても検討を進めるべきである。」

※平成24年6月1日 労災診療費のレセプト審査事務に関する検討会報告書公表

「支払基金等に労災レセプトの審査を委託するより、国が直接一括して審査する現行の方式の方が妥当であると考えられる。」

※平成24年6月13日 衆議院決算行政監視委員会へ報告

「国が直接一括して審査する現在の方式の中で業務改善を行い、更なる経費の縮減に努めていく。」（厚生労働大臣）

## 2 今後の進め方

- (1) 上記検討会を再開し、労災診療費のレセプト審査事務に関する業務改善等の具体策について検討を行う。
- (2) 12月11日に検討会を再開する。

## 3 検討の内容

労災診療費のレセプト審査事務に関し、その手法や範囲、審査制度の精度の視点から業務改善についての検討を行い、併せて、業務改善に伴う経費の縮減についての検討を行う。

## 4 検討会の参集者（五十音順。○は座長）

小西 康之 明治大学法学部教授

竹内 啓博 公認会計士

蜂谷 將史 横浜南共済病院院長

松島 正浩 東邦大学名誉教授

○山口 浩一郎 上智大学法学部名誉教授

(別添)

## 「行政監視に基づく事業の見直しに関する決議」 のフォローアップ決議（抜粋）

平成24年9月7日

衆議院・決算行政監視委員会

本委員会は、予算の計上及び執行の適正について徹底した検証を行うために行政監視に関する小委員会を設置し、昨年十一月十六日及び十七日に同小委員会において有識者の意見を求めつつ集中的に討議して評価を行った結果、革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラの構築、医療費レセプト審査事務、公務員宿舍建設・維持管理等に必要な経費並びに原子力関連予算の独立行政法人及び公益法人への支出について、改善を求めるべき事項を指摘し、予算編成及び執行に十分に反映させるなどの対応を求めるとともに、反映状況につき講じた措置について、本委員会に対し六箇月以内に報告するよう求める決議を十二月八日に行ったところである。

今国会に設置した行政監視に関する小委員会において、去る六月十三日に報告を聴取し、八月二日に集中的に討議してその内容を精査したところ、政府の対応、また、これを説明する資料の提出について十分でないものがあつた。改善が不十分な点があつたことは極めて遺憾である。

よって、本委員会は、これらの事項を今後も質疑等で適宜取り扱い、行政監視を行っていくため、政府に対し、以下について速やかに対応するよう求める。

(一 略)

### 二 医療費レセプト審査事務

(労災レセプト該当部分以外 略)

また、労災医療費のレセプト審査事務の支払基金等への委託についての検討を求めたが、厚生労働省は、「労災診療費のレセプト審査事務に関する検討会」の報告書で「国が直接一括して審査する現在の方式が妥当」としたことを受け、「現在の方式の中で業務改善を行い、更なる経費の縮減に努めていく」と回答しているが、今回の討議において、検討会が業務改善等についての議論を尽くしていないことが明らかになった。検討会を再開するなどして、その具体策を十分に検討することを求める。

(三及び四 略)

右決議する。